

科目区分	専門分野Ⅱ	授業科目	老年看護学方法論Ⅰ
講師名	藪下めぐみ 春口 優紀	実務経験の有無	2名とも有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	2年次 前期
講義の概要 *講師からの メッセージ	高齢者の加齢による精神的・身体的・社会的変化を考えながら、高齢者の日常生活の援助方法を学びます。		
<p>目的：高齢者の日常生活動作をふまえ、日常生活援助の基本を学ぶ。</p> <p>目標：</p> <p>1) 高齢者の日常生活動作をふまえ、日常生活援助の基本を学ぶ。</p> <p>2) ライフステージの最終段階にある対象のQOLを充実させるための看護を理解する。</p> <p>3) 高齢者の生活における特徴的な変調を理解する。</p>			
回	時間	講義内容	
1	2	日常生活動作のアセスメントと動作	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歩行・移動動作・姿勢保持の援助</li> <li>2. 転倒・転落の発生要因と予防</li> <li>3. 転倒による影響</li> </ol>
2	2	廃用症候群のアセスメントと看護	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 加齢による廃用症候群の病態と要因</li> <li>2. 廃用症候群のアセスメント</li> <li>3. 廃用症候群の予防と援助</li> </ol>
3 4	4	高齢者の生活を支える看護	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者模擬体験</li> <li>2. 歩行の援助・転倒予防</li> </ol>
6	2	高齢者総合機能評価	日常生活動作 手段的日常生活動作 認知機能 情緒・気分 社会的環境
7	2	高齢者の食事・食生活	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者にとっての食事の意義</li> <li>2. 高齢者の食事・食生活の特徴</li> <li>3. 高齢者の食生活の援助</li> <li>4. 口腔ケアの実際 (課題学習 レポート提出)</li> </ol>
8	2	嚥下機能が低下している高齢者への食事ケア	上記のレポート内容の復習 とろみ食について
9	2	高齢者への排泄ケア	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の排泄の特徴</li> <li>2. 高齢者の排泄障害のアセスメントとケア</li> </ol>
10	2	清潔・衣生活	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 清潔の意義</li> <li>2. 高齢者の身体変調</li> </ol>

			3. 清潔のアセスメントと看護
11	2	高齢者の更衣・排泄・清潔の援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の事例をもとに、高齢者の排泄ケア・更衣・清潔の援助計画を立案する</li> <li>・車椅子に座った状態での更衣</li> <li>・拘縮のある患者のおむつ交換</li> </ul> : 振り返りのレポートあり
12	2	高齢者の生活リズムへの看護	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の生活リズムの特徴的変調</li> <li>2. 生活リズムのアセスメント</li> <li>3. 生活リズムを整える看護</li> </ol>
13	2	高齢者のコミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者にとってのコミュニケーションとは</li> <li>2. 高齢者のコミュニケーションに影響を及ぼす要因</li> </ol>
14	2	高齢者のコミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者のコミュニケーションの特徴</li> <li>2. 高齢者のコミュニケーションの方法</li> </ol>
15	2	単位認定試験 筆記試験	
<b>講義方法</b>		(講義20時間 , 演習10時間)	
<b>評価方法</b>		単位認定試験 筆記試験 (90点)・課題レポート (10点)	
<b>テキスト</b>		医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅱ，老年看護学 第9版第1刷	
<b>備考</b>			